様式第２号の１－②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	窪田理容美容専門学校
設置者名	学校法人窪田学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
衛生専門課程	理容学科（２年制）	夜 ・ 通信	7 単位	7 単位	
	美容学科（２年制）	夜 ・ 通信	7 単位	7 単位	
	トータルビューティシャン科（２年制）	夜 ・ 通信	7 単位	7 単位	
	テクニカルスタイリスト科（１年制）	夜 ・ 通信	4 単位	4 単位	
	美容学科トライチェンジコース（３年制）	(夜) ・ 通信	6 単位	6 単位	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HP にて授業科目一覧を公開。授業科目一覧で、教員の実務経験に関し記号を付けている。
（掲載 https://www.kubota.ac.jp/school/provision.html）

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	窪田理容美容専門学校
設置者名	学校法人窪田学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

HP 内で公表している事業報告書に名簿を公開している。 （掲載 https://www.kubota.ac.jp/school/provision.html）

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	学校法人　元教員	(始期)令和 7 年 5 月 30 日 (終期)令和 11 年 5 月 29 日	学園内の教育内容・学科編成にたいする専門実践的な知見
非常勤	企業　経営者	(始期)令和 7 年 5 月 30 日 (終期)令和 11 年 5 月 29 日	組織運営などガバナンス体制に対し、経営的で専門的な知見
（備考）			

様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	窪田理容美容専門学校
設置者名	学校法人窪田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

（理容学科(2 年制)、美容学科(2 年制)、美容学科トライチェンジコース(3 年制)、テクニカルスタイリスト科(1 年制)、トータルビューティシャン科(2 年制)）
【作成について】
各授業科目については、毎年度、学内シラバス会議により講義の内容についての検討に基づき、全科目共通で
①授業の方法、②授業の内容、③授業計画、④到達目標、⑤成績評価の方法・基準、⑥教員紹介(実務経験)を記載し、学内統一様式でシラバスを作成している。
【時期について】
翌年度の授業計画は 12 月～2 月に担当教員が作成し、3 月の理事会にて承認、3 月下旬に HP に公開する。

授業計画書の公表方法	HP に公表（https://www.kubota.ac.jp/school/provision.html）

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）
シラバスに授業の内容、到達目標、成績評価の方法を記載し、学習成果として各授業科目の評価を行い、厳格かつ適正に単位を与えている。
各授業科目における試験は 100 点法で評価を行い、次の 4 段階評価に換算する。

100点法	100～80	79～70	69～60	50～0
4段階評定	A	B	C	D

実習の試験はカリキュラムに沿って技術能力到達状況に合わせて行い、各学会の定める技能能力（評価）に到達していない場合は各休業期間に補習授業を行う。実習以外の試験は定期試験及び追試験・再試験とする。定期試験は、各楽器の期末に実施し、その時間割は試験開始日の 1 週間前に公示するものとする。
　追試験は、病気その他止むを得ない事由により、定期試験を受験できなかった者を対象とし、適宜行う。
　再試験は各科目の学期における評価点数が 60 点に満たない者に対し、各学期終了後に行う。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 学業成績は、授業科目ごとに行う試験（定期試験・実技試験等）によって評価される。 履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出（100 点満点で点数化）し、その結果を指標の数値で分布している。 成績評価方法については入学オリエンテーションで通知している。 ・成績分布表別紙参照	
客観的な指標の算出方法の公表方法	HP に公表（https://www.kubota.ac.jp/school/provision.html）
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 公表しているディプロマポリシーに基づき、所定の期間在学し、所属学科において定める専門分野に関する知識・技能と共に、①コミュニケーション能力、②協調性、調和性を重んじ問題を解決する能力、③工場力、④人間的魅力　を身につけ、所定の単位を修得した学生に卒業を認定している。 ディプロマポリシーについては、事業報告書内にて公表。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	HP に公表（https://www.kubota.ac.jp/school/provision.html）

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	窪田理容美容専門学校
設置者名	学校法人窪田学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	当校にて所定の申込書に記入のうえ閲覧
収支計算書又は損益計算書	当校にて所定の申込書に記入のうえ閲覧
財産目録	当校にて所定の申込書に記入のうえ閲覧
事業報告書	当校にて所定の申込書に記入のうえ閲覧
監事による監査報告（書）	当校にて所定の申込書に記入のうえ閲覧

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
衛生	職掌実践専門課程 衛生専門課程	理容学科 （２年制）	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	67単位 (2010単位時間)	16単位 (480時間)	9単位 (270時間)	37単位 (1110時間)	0.3単位 (10時間)	5単位 (150時間)

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80人	80人	0人	8人	13人	21人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第２号の３【(3)厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第２号の３【(3)厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の 3．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の３【(3)厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の 4．を参照
学修支援等
（概要） 各カリキュラムにおいて小テストや演習を実施、その理解や修得度を確認している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
34人 (100%)	6人 (17.6%)	27人 (79.4%)	1人 (2.94%)
（主な就職、業界等） 理容室、及びエステティックサロン、株式会社HIROGINZA、株式会社リビアス、株式会社SALON DE LAVIE、株式会社スカイ、株式会社髪ing、株式会社パレスホテル、MillionBucks株式会社、Smile hair、有限会社RODAN			
（就職指導内容） 年２回の合同企業説明会の開催、担任とキャリアサポート課の連携による個別相談。学生個人の就職状況のカルテを作成し、進路状況を共有、多角的な指導を実施。			

（主な学修成果（資格・検定等）） 理容師免許 日本エステティック協会認定エステティシャン JNEC ネイリスト技能検定 3 級 メイクアップ検定 3 級 シュワルツコフヘアカラー検定 秘書技能検定　等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
80　人	3　人	3.75 ％
（中途退学の主な理由） 進路変更、学習意欲の低下、家庭事情、精神の疾病、経済状況の悪化		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学校長・担任による個別のカウンセリング。モチベーションアップの為の各種イベントを学校全体で実施。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
衛生	職業実践専門課程 衛生専門課程	美容学科 (2年制)	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	67単位 (2010単位時間)	16単位 (480時間)	9単位 (270時間)	37単位 (1110時間)	0.3単位 (10時間)	5単位 (150時間)

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
320人	324人	0人	19人	15人	34人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の３【(3)厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の３【(3)厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の３【(3)厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の4．を参照
学修支援等
（概要） 各カリキュラムにおいて小テストや演習を実施、その理解や修得度を確認している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
114人 (100%)	28人 (24.5%)	81人 (71.0%)	5人 (4.38%)

（主な就職、業界等）
美容室、まつ毛エクステンションサロン、ネイルサロン、エステティックサロン
株式会社ゼンコー、株式会社レゾナ、MINX、AOE株式会社、SHEA、Neolive、
ピアス株式会社、株式会社田谷、株式会社アッシュ、株式会社ケンジ、株式会社イディア・ノブ、株式会社おしゃれ企画、株式会社サロン・ド・ユー、株式会社ジュノン、株式会社トミーズスター、FILMS、THEATER、Double、株式会社谷口商事、株式会社ビューマインド、株式会社Du・pay、アトリエはるか、株式会社フジプランニング、株式会社マーキュリー、株式会社トニーズコレクション、OCEAN TOKYO、株式会社fifth、株式会社リップス　等

（就職指導内容） 年３回の合同企業説明会の開催、担任とキャリアサポート課の連携による個別相談。学生個人の就職状況のカルテを作成し、進路状況を共有、多角的な指導を実施。
（主な学修成果（資格・検定等）） 美容師免許 秘書技能検定 まつ毛エクステンション初級 メイクアップ検定３級 メイクアップ検定２級 シュワルツコフヘアカラー検定　等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
324　人	10 人	3.08 ％
（中途退学の主な理由） 進路変更、学習意欲の低下、家庭事情、精神の疾病、経済状況の悪化		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学校長・担任による個別のカウンセリング。モチベーションアップの為の各種イベントを学校全体で実施。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
衛生	職業実践専門課程 衛生専門課程	トータルビューティシャン科 (2 年制)	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位 (1740 単位時間)	25 単位 (750 時間)	8 単位 (150 時間)	27 単位 (810 時間)	0 単位 (0 時間)	2 単位 (30 時間)

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	73 人	0 人	20 人	8 人	28 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
様式第 2 号の３【（３）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照

成績評価の基準・方法

（概要）
様式第 2 号の３【（３）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照

卒業・進級の認定基準

（概要）
様式第 2 号の３【（３）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照

学修支援等

（概要）
各カリキュラムにおいて小テストや演習を実施、その理解や習得度を確認している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18 人 (100%)	0 人 (0%)	15 人 (83.3%)	3 人 (16.6%)

（主な就職、業界等）
ビューティーアドバイザー等メイクアップ関連職業、ネイルサロン、エステティックサロン
アトリエはるか、スタジオシエル、株式会社ザ・フォウルビ、株式会社ワムホールディング、株式会社ブルーム、株式会社ファイブスター、三越伊勢丹ホールディング、株式会社コンヴァノ、ビアンカグループ、ファンネクストグループ

（就職指導内容）
年 2 回の合同企業説明会の開催、担任とキャリアサポート課による個別相談、学生個人の就職状況のカルテを作成し、進路状況を共有、多角的な指導を実施。

（主な学修成果（資格・検定等）） 日本エステティック協会認定エステティシャン JNEC ネイリスト技能検定２級 メイクアップ検定２級 秘書技能検定 JNA ジェルネイル技能検定初級 アロマテラピー検定　等
（備考）（任意記載事項） 令和５年４月設置

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
73　人	6 人	8.21 ％
（中途退学の主な理由） 進路変更、学習意欲の低下、家庭事情、精神の疾病、経済状況の悪化		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学校長・担任による個別のカウンセリング、モチベーションアップの為の各種イベントを学校全体で実施。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
衛生	職業実践専門課程 衛生専門課程	テクニカルスタイリスト科 （1 年制）		

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	31 単位 （840 単位時間）	12 単位 （270 時間）	2 単位 （60 時間）	16 単位 （480 時間）	0 単位 （0 時間）	1 単位 （30 時間）

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40 人	34 人	0 人	15 人	10 人	25 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

様式第 2 号の３【(3)厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の１．を参照

成績評価の基準・方法

（概要）

様式第 2 号の３【(3)厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の 3．を参照

卒業・進級の認定基準

（概要）

様式第 2 号の３【(3)厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の 4．を参照

学修支援等

（概要）

各カリキュラムにおいて小テストや演習を実施、その理解や修得度を確認している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31 人 （100 %）	0 人 （ 0 %）	30 人 （ 96.7%）	1 人 （ 3.2%）

（主な就職、業界等）

理容室、美容室、エステティックサロン、化粧品販売、ネイルサロン
株式会社 HIROGINZA、株式会社リビアス、株式会社 RAJA、株式会社銀座マツナガ、
りよう室 ZANGIRI、株式会社スカイ、株式会社ハレケ、ピアス株式会社、MINX、RODAN、
株式会社スイートピア、株式会社ザ・フォウルビ、株式会社ゼンコー、株式会社レゾナ、
AOE 株式会社、Neolive、株式会社田谷、株式会社アッシュ、株式会社ケンジ、株式会社
イディア・ノブ、クレス、株式会社おしゃれ企画、株式会社サロン・ド・ユー、株式会
社ジュノン、株式会社ビューマインド、株式会社 Du・Pay、株式会社フジプランニング、
株式会社マーキュリー、株式会社大国屋、株式会社 SALON DE LAVIE、
株式会社 THEATER　等

（就職指導内容） 年３回の合同企業説明会の開催、担任とキャリアサポート課の連携による個別相談。学生個人の就職状況のカルテを作成し、進路状況を共有、多角的な指導を実施。
（主な学修成果（資格・検定等）） 美容師免許 理容師免許 JNA ジェルネイル技能検定初級 まつ毛エクステンション検定３級
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
34　人	1 人	2.94 ％
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学校長・担任による個別のカウンセリング。モチベーションアップの為の各種イベントを学校全体で実施。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
衛生	衛生実践専門課程 衛生専門課程	美容学科トライチェンジコース (3 年制)	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	夜	67 単位 (2087 単位時間)	16 単位 (480 時間)	9 単位 (270 時間)	37 単位 (1110 時間)	0.3 単位 (10 時間)	5 単位 (150 時間)

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120 人	7 人	0 人	17 人	12 人	29 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
様式第 2 号の３【(3)厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の１．を参照

成績評価の基準・方法

（概要）
様式第 2 号の３【(3)厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の 3．を参照

卒業・進級の認定基準

（概要）
様式第 2 号の３【(3)厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の 4．を参照

学修支援等

（概要）
各カリキュラムにおいて小テストや演習を実施、その理解や修得度を確認している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7 人 (100%)	0 人 (0%)	7 人 (100%)	0 人 (0%)

（主な就職、業界等）
美容室、まつ毛エクステンションサロン、ネイルサロン、エステティックサロン
株式会社ゼンコー、AOE 株式会社、Neolive、ピアス株式会社、株式会社アッシュ、株式会社イディア・ノブ、株式会社クレス、株式会社サロン・ド・ユー、MINX、株式会社ジュノン、株式会社トミーズスター、株式会社ビューマインド、株式会社 Du・pay、株式会社ぬばたま、株式会社レゾナ、株式会社ケンジ　等

（就職指導内容） 年３回の合同企業説明会の開催、担任とキャリアサポート課の連携による個別相談。 学生個人の就職状況のカルテを作成し、進路状況を共有、多角的な指導を実施。 当該課程は夜間となるため、時間帯による指導の差が発生しないよう、個別相談の時間を別途設け実施。
（主な学修成果（資格・検定等） 美容師免許 JNEC ネイリスト技能検定３級 秘書技能検定 まつ毛エクステンション初級 メイクアップ検定３級 シュワルツコフヘアカラー検定　等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7　人	0 人	0 ％
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学校長・担任による個別のカウンセリング。モチベーションアップの為の各種イベントを学校全体で実施。		

②学校単位の情報

ａ）「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 （年間）	その他	備考（任意記載事項）
理容学科	120,000 円	600,000 円	956,000 円	その他内訳 （施設設備維持料、実習料、教材費）
美容学科	120,000 円	600,000 円	956,000 円	その他内訳 （施設設備維持料、実習料、教材費）
テクニカルスタイリスト科	50,000 円	600,000 円	525,000 円	その他内訳 （施設設備維持料、実習料、教材費）
美容学科夜間 ﾄﾗｲﾁｪﾝｼﾞｺｰｽ	100,000 円	390,000 円	645,000 円	その他内訳 （施設設備維持料、実習料、教材費）
トータルビューティシャン科	100,000 円	600,000 円	830,000 円	その他内訳 （施設設備維持料、実習料、教材費）
修学支援（任意記載事項）				

b）学校評価

自己点検評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 公表 URL アドレス又は刊行物の名称及び入手方法 前年度の評価について、HP にて公開 https://www.kubota.ac.jp/school/provision.html
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）
学校関係者として、関係企業、卒業生などを含む学校関係者委員会を組織し、それぞれの立場から教育内容や学校運営等について評価を実施している。 評価内容および結果は理事会ではもちろんの事、各委員会や教育課程編成委員会などにフィードバックされ、次年度以降の学校運営改善に取り組んでいる。
第三者評価の委員

所属	任期	種別
美容室 卒業生	令和 6 年 10 月 1 日～ 令和 8 年 9 月 30 日	企業
理容室　経営者 理容業界団体・幹部	令和 6 年 10 月 1 日～ 令和 8 年 9 月 30 日	企業 業界関係者
美容室　経営者	令和 6 年 10 月 1 日～ 令和 8 年 9 月 30 日	企業

第三者評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 公表 URL アドレスまたは刊行物等の名称及び入手方法 前年度の評価について、HP にて公開 https://www.kubota.ac.jp/school/provision.html
（備考）
第三者評価は未実施であり、令和 13 年度に実施予定である。

c）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 公表 URL アドレス又は刊行物等の名称及び入手方法 HP アドレス https://www.kubota.ac.jp/にて情報公開（ブログ等含む） 基本情報　https://www.kubota.ac.jp/school/provision.html

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H113311400059
学校名（○○大学 等）	窪田理容美容専門学校
設置者名（学校法人○○学園 等）	学校法人窪田学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		142 人（ 72人）	138 人（ 68人）	150 人（91人）
内訳	第Ⅰ区分	53 人	56 人	
	（うち多子世帯）	（-人）	（ 12人）	
	第Ⅱ区分	26 人	17 人	
	（うち多子世帯）	（-人）	（-人）	
	第Ⅲ区分	12 人	12 人	
	（うち多子世帯）	（ -人）	（ 0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0 人	0 人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	19 人	18 人	
	区分外（多子世帯）	32 人	35 人	
家計急変による 支援対象者（年間）				－ 人 （-人）
合計（年間）				150 人（91人）
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）第４条第２項第１号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第２号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0 人	0 人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	人	0 人	0 人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	0 人	0 人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0 人	0 人
計	人	0 人	0 人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0 人	後半期	0 人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

（１）停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
ＧＰＡ等が下位４分の１	人	0 人	0 人

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	人	0 人	0 人
ＧＰＡ等が下位４分の１	人	0 人	25 人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	0 人	0 人
計	人	0 人	25 人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。